

=== T A C S 情報 第 1 号 ===

(Toyama Agricultural Cultivation Management Information System)

令和 6 年 5 月 28 日

農業技術課 広域普及指導センター

1 気象経過

(1) 気温

5月上旬の平均気温は、16.6℃（対平年差+0.3℃）と平年並であった。

5月中旬の平均気温は、18.5℃（同+1.3℃）と平年に比べ高かった。

5月5半旬の平均気温は、18.7℃（同+0.1℃）と平年並であった。

(2) 降水量

5月上旬の降水量は、28.5mm（対平年比 65%）と平年並であった。

5月中旬の降水量は、67.0mm（同 156%）と平年に比べ多かった。

5月5半旬の降水量は、0.0 mm（同 0%）と平年に比べかなり少なかった。

(3) 全天日射量

5月上旬の平均日射量は、18.8MJ/m²/日（対平年比 106%）と平年に比べ多かった。

5月中旬の平均日射量は、18.7MJ/m²/日（同 103%）と平年並であった。

5月5半旬の平均日射量は、18.8MJ/m²/日（同 98%）と平年並であった。

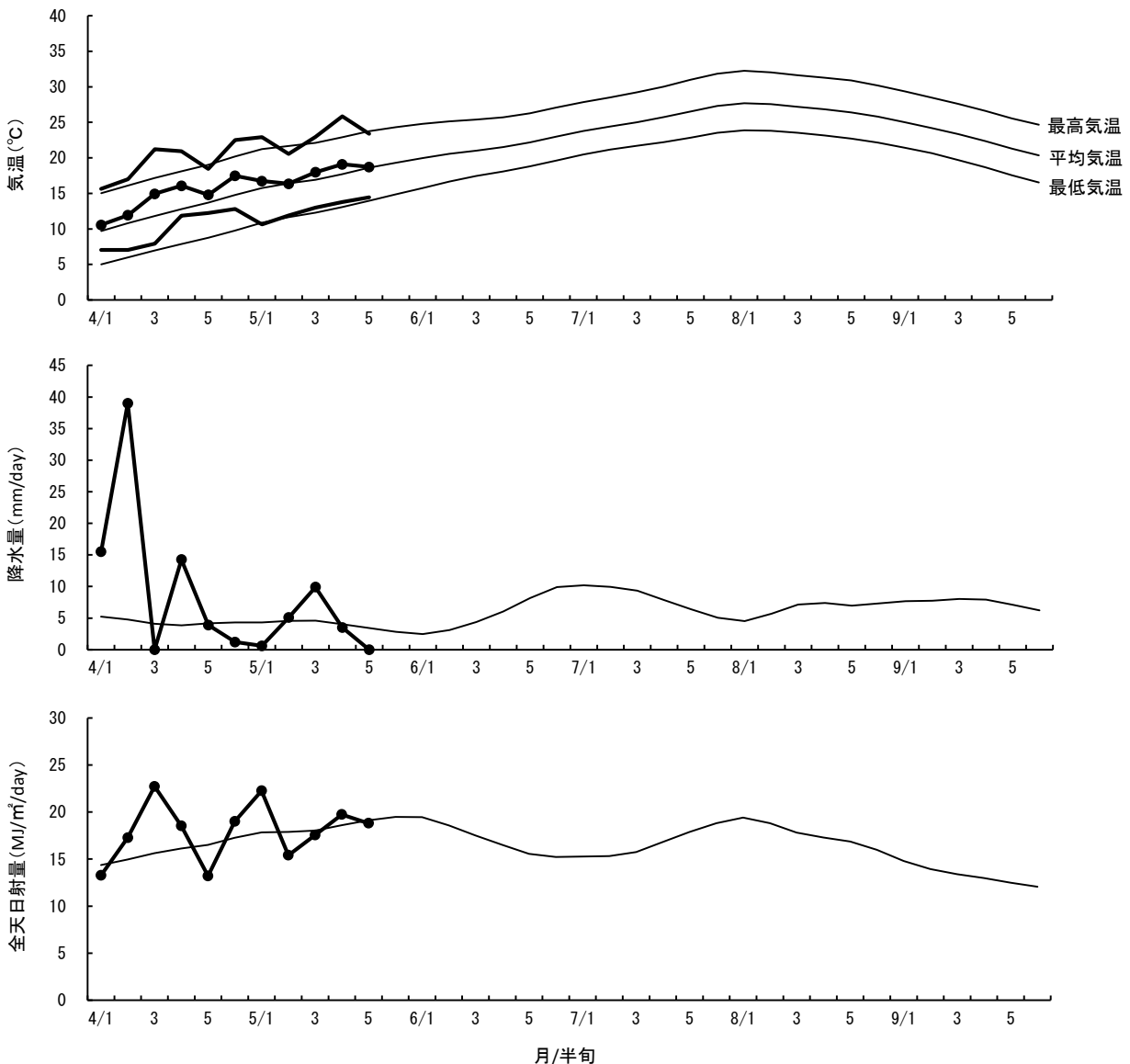


図 1 令和 6 年の気象経過（富山地方気象台）

2 生育状況（生育観測ほデータ）

（1）苗の状況

①てんたかく

平年に比べ、草丈はやや長く、葉齢、第1葉鞘長は並、乾物率はやや高かった。

②コシヒカリ

平年に比べ、草丈、第1葉鞘長はやや長く、葉齢、乾物率は並であった。

③てんこもり

平年に比べ、草丈は並、葉齢は0.3葉大きく、第1葉鞘長はやや短く、乾物率は並であった。

表1 苗の生育状況（生育観測ほ）

品種	年次	草丈 (cm)	葉齢 (葉)	第1葉鞘長 (cm)	生体重 (mg)	乾物重 (mg)	乾物率 (%)	充実度 (mg/cm)
てんたかく	R6	13.9	2.8	3.2	98.9	20.3	20.4	1.46
	R5	12.3	2.7	3.2	86.0	15.3	17.8	1.25
	平年	13.3	2.7	3.3	89.4	17.0	19.0	1.28
	前年比・差	113	0.1	100	115	133	115	117
	平年比・差	105	0.1	97	111	119	107	114
コシヒカリ	R6	15.2	2.7	4.0	91.9	17.8	19.4	1.18
	R5	14.0	2.6	3.8	90.6	18.6	20.6	1.33
	平年	14.4	2.6	3.8	89.1	17.9	20.2	1.24
	前年比・差	109	0.1	105	101	96	94	89
	平年比・差	106	0.1	105	103	99	96	95
てんこもり	R6	12.3	3.0	3.1	86.9	17.4	19.7	1.41
	R5	12.4	2.9	3.4	84.7	16.8	19.7	1.38
	平年	12.3	2.7	3.4	86.5	17.5	20.4	1.43
	前年比・差	99	0.1	91	103	104	100	102
	平年比・差	100	0.3	91	100	99	97	99

注) 平年：H26～R5年の平均、充実度：乾物重÷草丈

（2）本田での生育状況

①てんたかく

平年に比べ、草丈は並、茎数はかなり多く、葉齢は0.6葉進んでおり、葉色はやや淡くなっている。

②コシヒカリ

平年に比べ、草丈は並、茎数は少なく、葉齢、葉色は並となっている。

③てんこもり

平年に比べ、草丈、葉色は並、茎数は多く、葉齢は0.3葉進んでいる。

表2 水稻の生育状況（5月27日 生育観測ほ）

品種	年次	田植日 (月/日)	植付本数 (本/株)	栽植密度 (本/m ²)	草丈 (cm)	茎数		葉齢 (葉)	葉色 葉色板
						(本/株)	(本/m ²)		
てんたかく	R6	5月2日	3.4	21.4	24.7	8.0	172	6.8	4.1
	R5	5月3日	3.8	21.2	23.6	6.2	132	6.0	4.3
	平年	5月4日	3.7	21.5	24.6	6.7	141	6.2	4.3
	前年比・差	-1	-0.4	0.2	105	129	130	0.8	-0.2
	平年比・差	-2	-0.3	-0.1	100	119	122	0.6	-0.2
コシヒカリ	R6	5月14日	3.7	21.4	21.8	4.0	85	4.6	3.8
	R5	5月13日	3.8	21.7	23.4	4.6	100	4.5	3.8
	平年	5月14日	3.8	21.8	22.5	4.4	96	4.5	3.8
	前年比・差	1	-0.1	-0.3	93	87	85	0.1	0.0
	平年比・差	0	-0.1	-0.4	97	91	89	0.1	0.0
てんこもり	R6	5月8日	4.0	18.9	22.5	7.1	133	5.9	4.1
	R5	5月10日	4.1	19.5	21.7	5.5	107	5.3	4.3
	平年	5月8日	3.8	19.2	22.0	6.0	112	5.6	4.2
	前年比・差	-2	-0.1	-0.6	104	129	124	0.6	-0.2
	平年比・差	0	0.2	-0.3	102	118	119	0.3	-0.1

注) 平年：H26～R5年の平均

3 当面の技術対策

- ・「てんたかく」、「てんこもり」は、葉齢の進みが早く、茎数も多くなっていることから、田植後1か月までに遅れずに溝掘り・中干しを行う。
- ・「コシヒカリ」は、初期茎数を確保するため、浅水管理を徹底する。また、田植後4週間までに溝掘りを行い、中干しを開始する。

(1) 「てんたかく」、「てんこもり」の管理

田植後1か月までに中干しを遅れず開始する。また、中干し前に5m（15～17条）に1本を目安に溝掘りを確実に行い、ほ場への入排水の効率を高める。

(2) 「コシヒカリ」の管理

- ・初期茎数を確保するため、2～3cm程度の浅水管理を徹底する。
- ・藻の発生やワキがみられるほ場は、軽い田干しや水の入れ替えを行う。
- ・田植後3週間を目安に入水を止め、適度な土壌硬度を確保した上で、田植後4週間までに溝掘りを行い、中干しを開始する。

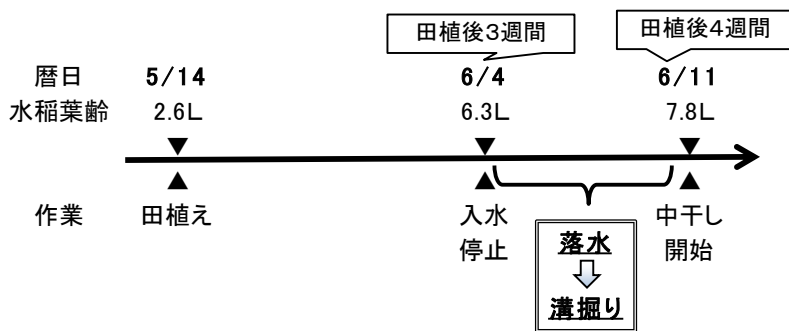


写真 中干しの有無による根量の違い

図2 溝掘りと中干し実施のイメージ

注) 水稻葉齢：H26～R5 生育観測ほコシヒカリの平均値

(3) 共通管理

ア 雑草防除

- ・雑草の発生がみられる場合は、草種と生育期に応じて、適切な中・後期剤を散布する。
- ・除草剤の散布は、使用基準を厳守するとともに、湛水散布の場合、散布後7日間は止水管理（「落水」や「かけ流し」をしない）とし、水田外への流亡を防ぐ。

イ 病虫害防除

<いもち病>

- ・苗箱施薬で殺菌剤を施用していない場合は、予防粒剤を6月20日頃までに散布する。

<斑点米カメムシ類>

- ・暖冬や春先の好天により カメムシの発生が多くなっていることから、イネ科雑草の穂が出ないように草刈りを徹底する。
- ・本田内のノビエやホタルイも、斑点米カメムシ類による被害を助長するので、除草を徹底する。

草刈り運動期間：6月28日（金）～7月7日（日）

一斉草刈り日：6月29日（土）～6月30日（日）

「富富富」の生育状況と当面の技術対策について

1 生育状況（生育観測ほ等データ）

（1）苗の状況

近年に比べ、草丈、葉齢、第1葉鞘長は並、乾物率はやや高かった。

表1 苗の生育状況（生育観測ほ等）

年度	草丈 (cm)	葉齢 (葉)	第1葉鞘長 (cm)	生体重 (mg)	乾物重 (mg)	乾物率 (%)	充実度 (mg/cm)
R6	12.9	2.6	3.5	83.5	16.5	19.8	1.30
R5	11.5	2.5	3.4	76.3	15.7	20.6	1.37
近年	12.5	2.5	3.7	81.3	15.2	18.8	1.23
前年比・差	112	0.1	103	109	105	96	95
近年比・差	103	0.1	95	103	109	105	106

注1) R6：11ほ場平均（生育観測ほ：4ほ場、新品種実用化・プラ削減 対照区：7ほ場）

注2) 近年値：H29～R5平均

（2）本田での生育状況

近年に比べ、草丈は短く、茎数は並、葉齢は0.2葉遅れており、葉色はやや淡くなっている。

表2 「富富富」の生育状況（5月27日 生育観測ほ等）

年次	田植日 (月/日)	植付本数 (本/株)	栽植密度 (本/m ²)	草丈 (cm)	茎数		葉齢 (葉)	葉色
					(本/株)	(本/m ²)		葉色板
R6	5月17日	4.2	22.0	18.2	4.5	99	4.1	3.8
R5	5月16日	4.1	21.8	18.9	4.8	105	4.1	3.9
近年	5月15日	3.9	21.6	20.5	4.6	99	4.3	4.0
前年比・差	1	0.1	0.2	96	94	94	0.0	-0.1
近年比・差	2	0.3	0.4	89	98	100	-0.2	-0.2

注1) R6：11ほ場平均（生育観測ほ：4ほ場、新品種実用化・プラ削減 対照区：7ほ場）

注2) 近年値：H29～R5の平均

2 当面の技術対策

- ・ **初期茎数を確保するため、浅水管理を徹底する。**
- ・ **田植後4週間までに溝掘りを行い、遅れずに中干しを開始する**

（1）浅水管理

- ・ 田植後3週間までは、**浅水管理により水温の上昇に努め、分げつの発生を促進**する。
- ・ 藻の発生やワキがみられるほ場は、軽い田干しや水の入れ替えを行う。

（2）溝掘りと中干し

- ・ 水管理の効率を高めるため、田植後3週間を目安に入水を止め、適度な土壌硬度を確保した上で、**田植後4週間までに溝掘りを行う**。
- ・ 中干しが遅れると、過剰籾数になりやすいため、**中干しは田植後4週間までに遅れず開始**する。

（3）その他の管理

病害虫および雑草防除は、コシヒカリに準じて実施する。ただし、生育期間を通した化学合成農薬の成分使用回数が12以内となるよう留意する。

次回の調査日は6月4日（火）です。
生育調査及び溝掘り・中干し状況の確認をお願いします。

「田植後4週間までの中干しの確実な開始」が、
きれいで、美味しい「富富富」を穫るポイント！

「過剰籾数は、厳禁」

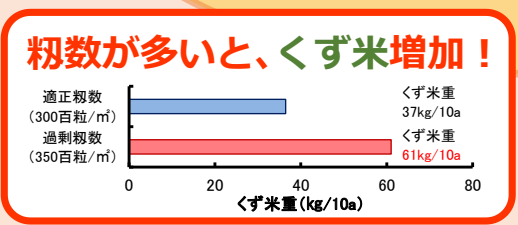


「富富富」ちゃ、な〜ん倒れんから、
でっかいと肥料やって、
たくさん籾つけてやれ！

過剰な籾は、絶対につけちゃダメだよ！
過剰になると、悪いことばかりなんだ！！



- ① **くず米が多く、収量少ない**
くず米や色彩選別ではじく米が多く、収量が低下！
- ② **品質・食味の低下**
乳白粒、心白粒、青未熟粒が増加！
タンパク含有率が高く美味しくない米に！
- ③ **登熟がばらつく**
籾の黄化がばらつき、刈取適期がわかりにくい！



過剰籾数の主な原因は
「基肥のやりすぎ」と
「中干しの遅れ」

注目!

「適正な基肥窒素量の施用」
「田植後4週間までの中干しの確実な開始」